



かけはし



第230号 平成28年(2016年) 12月1日(木曜日) 編集発行 宝塚市議会



宝塚アニメフェスタ2016 × ハロウィンの風景

9月定例会の概要



- 水道・下水道・病院事業の平成27年度 **決算** を認定
- 市立駐車場・自転車等駐車場の **指定管理者** を新たに決定

第4回 意見交換会

8月28日に、総勢91人の傍聴者が見守る中、11人の市民と意見交換を行いました。

市民発言者
 泉 栄一 さん
 今井 薫 さん
 上西嘉郎 さん
 金崎政信 さん
 品川こころ さん
 須藤栄一 さん
 牧野利幸 さん
 馬目容子 さん
 宮原信哉 さん
 宮本成男 さん
 山本敏晴 さん
 (50音順)



子ども・高齢者が集う夜間の居場所・食事の提供

市民 日本の子どもの貧困率は高く、6人に1人。19時から21時を一人で過ごし、カップラーメンやスナック菓子で過ごす。子どもを孤立している。そのような孤食は高齢者にも多い。地域で子ども食堂を開き、食事と居場所の提供が必要だ。

議員 子ども食堂は宝塚市でも少しずつ広がっている。市の対応はどうか。

市民 子ども未来部には積極的に応援してもらっている。

市民 宝塚ガーデンフィールド跡地についてのアンケートに答えた。答えればそうなると思っただけ、郷愁の目玉であった温室は壊された。市民が集う場所をつくるというが、そうなるのか。

議員 35億円をかける施設であり、市民が喜ぶのか疑問。

市民 土地利用を見直し、市民が行きたくなるもの。

議員 失敗すると大変だと、行政もがんばっている。

今津線沿線の歴史的建造物の日本遺産登録

市民 建築物保存のNPOや、宝塚ホテルの保存活動に参加している。本市も日本遺産登録での集客をしてほしい。阪急今津線沿線には歴史的建造物がたくさんある。大切なのはストーリー性。伝承を集めなければならぬ。たとえ登録できなくても、人を呼ぶストーリーを紡ぐことができる。

議員 本市だけではストーリーが作りにくいのでは。

市民 行政だけでなく、市民も入って検討すべき。

議員 日本遺産登録をめざすことで、市も勉強できるだろう。

生きがいを見つけるための終活のすすめ

市民 終活カウンセラーとして活動している。長生きしても生きがいがないと、不安ばかりが広がる。何もない毎日を減らし、不安を解消するため、エンディングノートを活用してほしい。

議員 当事者を中心に考える専門的取り組みが必要ではないか。

議員 総合窓口的なカウンセラーの必要性を感じた。

市民 生きがいを持つための話を聞ける人を増やす機会を。

議員 終活とは生きていくための活動だと理解した。

議員 東日本大震災翌年からアニメフェスタを毎年実施し、拡大中。コスプレフェスタを開催しているが、手塚漫画とは少し違い融合は難しい。

議員 宝塚ガーデンフィールド跡地の活用は絵本がテーマで少し異なる。手塚氏の作品はアニメの原点。コンテンツをいかにするか考えたい。

宝塚市の観光の目玉とは

市民 宝塚市の観光は低迷しているように見える。本市の資源は宝塚歌劇と手塚治虫氏、これらをいかに活用するかがポイント。アニメと漫画の情報発信拠点にして「夢のある宝塚」をめざしては。



大震災時に最優先すべき通信のあり方

市民 阪神淡路大震災で妻が倒壊した家に閉じ込められた。連絡しようにも家の電話も携帯電話も警察無線もつながらず、やっと開通した公衆電話は長蛇の列で利用できなかった。大災害直後でも、110番・119番につながるよう国に要請してほしい。

議員 国は災害時には特設公衆電話を設置する計画。

議員 防災行政無線の設置も考えている。公助以外にも自助、共助も大切。

市民 通信を制限する法整備を

商工業の衰退に歯止めをかける

市民 ファミリーランド閉園以来、観光産業に大きな影響があったが、それでも年間836万人も本市に観光客が訪れている。宝塚ガーデンフィールズ跡地は、植物園として長く親しまれた場所。貴重な自然と歴史や文化を継承してこそ価値のある施設となるのでは。

議員 日帰り客ばかりであるが、836万人も訪れてくれるのはありがたい。どのように宝塚市を回遊して、お金を落としてもらおうかが最大の課題である。

議員 アジアからの観光客も増加し、リピーターも多い。歌劇だけでなく、歴史的建造物、木接太夫などもあるが、長尾山古墳を観光スポットにすべきと思う。

企業誘致で税収アップ

市民 ITのまち宝塚の創造や、実績のある企業に用地を無償提供して法人税収を得るなど、税収を上げる取り組みをしては。

議員 法人税が上がるのと税収アップになるが、市内に本社機能がないと税収につながらない。市も補助制度により企業誘致の努力はしているが、成功している都市は首長のトップセールスで行っている。

市民 土地の無償提供等で法人を呼べないか。

議員 無償提供しても、土地の買収や改修工事でお金がかかる。企業誘致は市長にがんばっていただきたい。

医療費削減のための予防医学や教育

市民 体幹のエクササイズである、ピラティスを教えている。若い世代でも支える力が弱く、腰痛などの問題が出ている。教育にピラティスを取り入れてはどうか。副作用もなく、予防医学として勧めたい。

議員 病気の早期発見のための特定健診やジェネリック医薬品の推進等をしている。ご意見はもっともで、健康であることが一番だが、行政の限界はある。

市民 3カ月でひざ痛等が改善し、生きる意欲を取り戻した方もいる。ぜひ、ピラティスを知ってほしい。

市民 政府は「2020年までに4千万人の外国人誘客」を宣言。この機会に宝塚市の活性化をめざすべき。外国人観光客は、日本のアニメで日本語を学び、憧れをもって来日。手塚治虫記念館をアニメのルーツを伝える施設とすべきだ。清荒神参道を往復すると福がもらえると昔は言っていた。統一したPRをするため一人のディレクターを置くべきだ。

議員 デイレクターの必要性は主張してきた。清荒神参道は可能性を秘めた場所。期待している。

第5回意見交換会開催

市民発言者大募集



毎回市民の皆さまにご参加いただき開催しております意見交換会も、第5回を迎えることとなりました。テーマ・開催内容等は次のとおりです。奮ってご参加ください。

- 開催日時とテーマ**
 平成29年2月5日(日)
 第1部 10時～11時45分 「危機管理について」
 第2部 12時30分～14時15分 「市政のあり方について」
 第3部 14時30分～16時15分 「障がい者施策について」「教育について」
- 開催場所**
 市立西公民館 3階 セミナー室
- 応募資格**
 市内在住・在勤・在学の18歳以上の方
- 募集人数**
 各部ごとに4名程度
- 申込期限**
 (応募者多数の場合は抽選)
 平成29年1月20日(金)
- 申込方法**
 発言申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、電子メールまたはご持参によりお申し込みください。
- 申込書は、市議会事務局、サービスセンター、サービスステーション等でお渡ししています。また、ホームページからもダウンロードできます。または、FAX、郵送でお届けすることもできます。**
- 問い合わせ・申し込み先**
 議会事務局 議事調査課
 TEL 0797-7712168
 FAX 0797-716902

健康寿命を延ばすための取り組み

市民 「いきいき百歳体操」をもっと広げたい。「すこしお生活」(塩6g未満/日)を周知したい。呉市役所の食堂は減塩メニューを提供している。

議員 健康には適度な運動が大切だが、本人のモチベーションをどう上げるかが課題ではないか。

議員 健康寿命を延ばすためには、歩行が有効。散歩を勧めたい。市内の遊歩道を整備したい。

9月定例会の議案審議から

9月定例会では、市長から提案された議案や、市民の皆さまから提出された請願など計57件について審議しました。ここでは、主な議案審議の概要を報告します。

なお、提案された議案のうち平成27年度宝塚市一般会計及び各特別会計の決算認定については、慎重審議を行うため、決算特別委員会を設置し、閉会中も継続して審査することとしましたので、次号(2月1日発行)で報告します。

平成28年度宝塚市一般会計補正予算(第2号)

全員一致
可決

議案の概要 歳入歳出予算の総額にそれぞれ12億6,730万円を増額し、補正後の歳入歳出予算の総額を786億6,740万4千円とするものです。

主な質疑 新規に計上されている二酸化炭素排出抑制対策事業や介護ロボット等導入支援特別事業、子どもの貧困に関する実態調査業務委託について、それぞれ内容確認がありました。また、(仮称)市立中央公民館及び(仮称)栄町3丁目公園の整備状況や今後の予定、ふるさと納税記念品の予算額を増額することによる効果、道路橋りょう費補助金の減額と道路橋りょう整備事業債計上との関連性、多額の保育所運営費国県負担金返還金及び生活保護費国庫負担金返還金が発生した理由などについて、さまざまな質疑がありました。

(仮称)市立中央公民館の新築工事請負契約を締結

全員一致
可決

議案の概要 旧市立中央公民館(伊予志1丁目地内)は、耐震性能が不十分で安全性を確保できない状態であったため、平成26年度末で閉館しました。その後、市立末広駐車場の一部及び市立勤労市民センターを除去し、(仮称)市立中央公民館を新築することとしました。今回、その工事請負契約を締結しようとするものです。

請負金額 10億3,680万円

請負業者 株式会社明和工務店

主な質疑 2つの論点から質疑が行われました。論点1「整備概要について」では、パブリックコメントを行わなかった理由、現在の勤労市民センター利用者への対応、今後の施設の運営方針など、論点2「工事請負契約の妥当性について」では、請負業者の実績、分割発注の検討、事業費の財源構成などについて、質疑がありました。

公営企業会計決算を慎重に審議

平成27年度 水道、下水道、病院事業会計決算

決算の概要

いずれも^{ち ほうこうえいぎぎょうほう}地方公営企業法第30条第4項の規定により、議会の認定に付するものです。

		水道	下水道	病院
収益的収支	収入	47億2,961万7,337円	43億1,270万4,176円	109億8,565万8,315円
	支出	44億7,212万5,122円	41億4,336万4,773円	111億1,011万7,742円
	差引	2億5,749万2,215円	1億6,933万9,403円	△ 1億2,445万9,427円
	収支	(純利益) 1億7,564万2,522円	(純利益) 1億5,793万7,403円	(純損失) △ 1億2,607万2,340円
資本的収支	収入	4億9,192万3,804円	14億4,565万2,843円	6億7,607万9,000円
	支出	25億9,853万1,442円	31億9,426万758円	17億6,846万6,325円
	差引	△ 21億660万7,638円	△ 17億4,860万7,915円	△ 10億9,238万7,325円
	収支不足は、損益勘定留保資金並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額等で補てん			

水道決算の主な質疑 「債権管理^{さいけんかんり}について」及び「経営状況と今後の見通し^{みしゅうきんたいさく}について」を論点に審査が進められました。「債権管理について」では、未収金対策の現状、滞納者^{きゅうすいていしそち}に対する給水停止措置などについての質疑がありました。また、「経営状況と今後の見通しについて」では、将来予測をする上での料金改定の必要性、経営努力の市民周知の必要性、浄水場職員^{じょうすいじょう}の急な代勤による時間外勤務の現状、営業外収益^{えいぎょうがいしゅうえき}の分担金^{たんきん}、今後の水の需要予測などについての質疑がありました。

下水道決算の主な質疑 「債権管理について」及び「経営状況と今後の見通しについて」を論点に審査が進められました。「債権管理について」では、自力執行権^{じりきしつこうけん}の行使、包括委託契約^{ほうかくたいしけいやく}に基づく受託業者の管理などについての質疑がありました。また、「経営状況と今後の見通しについて」では、平成31年度以降の更なる料金改定、雨水排水施設付帯工事^{はいすいしせつふたいこうじ}の増額変更、浸水対策必要地域の整備状況、不明水対策などについての質疑がありました。

病院決算の主な質疑 「経営状況について」を論点に審査が進められました。各科の入院・外来の患者数の動向、資金繰り、診療科ごとの収支、未収金対策、医業収益、退職手当組合の負担金、医師や看護師の確保策及び経営面の体制強化、並びに今後の保全計画及び中期事業計画の改革プランなどについての質疑がありました。



賛成多数
可決

指定管理者を新たに決定

武田尾駅前・宝塚駅前駐車場、自転車等駐車場の指定管理者

議案の概要 指定管理者を、次のとおり指定するものです。

指定管理者の候補者 サイカパーキング株式会社

指定期間 平成29年4月1日から平成34年3月31日まで

主な質疑 論点を「選定の妥当性について」とし、同社の高齢者雇用の考え方、市の交通安全教室への同社が提案する自転車シミュレーター導入、人員整理による人件費抑制への懸念、障がい者雇用などについての質疑が行われました。

討論では、以前、同社が他市の駐輪場の指定管理者であった際、職員の不正行為があったことを候補者選定時に市が把握していなかったことについて、事前調査が不十分であり、市の姿勢に疑問を感じるという反対意見、そもそも指定管理者制度自体に反対であり、同社の指定は人員削減につながり、さらに、市内に事務所がなく、緊急対応できないという反対意見、さらに、同社は障がい者雇用や民間活力の柔軟な視点の導入、駅前の不法駐輪対策などもしっかり考えているという賛成意見がありました。

なお、委員会では、本議案の可決に当たり、市に「同社への指導管理の徹底と今後の十分な事前調査の実施」と「できる限り高齢者雇用が継続できるようモニタリングの継続」を求める2件の附帯決議を可決しました。

◆本会議での各議員の賛否(賛成=○、反対=×) ※議長は表決に加わりません。

江原	中野	藤岡	三宅	たぶち	田中	となき	みとみ	山本	伊福	大河内	富川	寺本	石倉	北野	大川	浅谷	伊藤	岩佐	たけした	若江	井上	大島	梶川	北山	細川
○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○



花屋敷グラウンドの指定管理者を決定

全員一致
可決

議案の概要 指定管理者を、次のとおり指定するものです。

指定管理者の候補者 たからづか花屋敷スポーツライフグループ

代表者 国際ライフパートナー株式会社

指定期間 平成29年4月1日から平成32年3月31日まで

主な質疑 2つの論点から質疑が行われました。論点1「指定管理者選定の妥当性について」では、現在の指定管理者と変わるため、地域との関係の継続性や、候補者選定時の評価などの質疑があり、論点2「市のスポーツ行政と施設のあり方について」では、スポーツ行政の大きな部分を担う公益財団法人宝塚市スポーツ振興公社との関係、ナイター営業の新規提案、運営時の組織体制などについて、質疑がありました。

請 願

9月定例会では、2件の請願が提出されました。いずれの請願も文教生活常任委員会で慎重審査のうえ、本会議で採択しました。請願の概要は次のとおりです。



乳幼児等医療費助成・こども医療費助成の所得制限についての請願 (概要)
この2つの医療費助成制度は各自自治体が独自施策として実施しているため、自治体間で対象者、所得制限、給付内容等に差が出ている。宝塚市では所得制限の要件があり、自治体間競争に負けてしまうのではと考える。所得制限の撤廃は現段階では市単独での支出になるが、本市の人口減少を食い止める一助にもなると考える。
このため、市に対し、国・県へ財源を求める要望を行うこと及び早期に所得制限を撤廃することを求める。
(採択・賛成多数)

教育条件整備のための請願 (概要)

宝塚市では、宝塚市教育推進プロジェクトを中心に、いじめ、不登校、学級崩壊などの解決に取り組んでいるが、そのほかにさまざまな課題がある。これらの教育課題克服のためには、教育予算の一層の充実と制度の拡充が必要であるとして、市に教育予算の充実と保護者負担の軽減等を求める。
(採択・全員一致)

◆本会議での各議員の賛否(賛成=○、反対=×)

江原	中野	藤岡	三宅	たぶち	田中	となき	みとみ	山本	伊福	大河内	富川	寺本	石倉	北野	大川	浅谷	伊藤	岩佐	たけした	若江	井上	大島	梶川	北山	細川
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×

※議長は表決に加わりません。

意見書

9月定例会では4件の意見書を全員一致で可決し、関係機関へ送付しました。



意見書名	送付先
「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣
無年金者対策の推進を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣
返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書	内閣総理大臣、文部科学大臣
乳幼児等医療費助成・こども医療費助成制度に関して国に財源確保を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

その他の賛否が全員一致した議案等

平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算(第3号)	可 決	
平成28年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算(第2号)		
平成28年度宝塚市特別会計平井財産区補正予算(第1号)		
宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市障害支援区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市生活道路整備条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
財産(宝塚市新庁舎・ひろば整備事業用地)の取得について		
財産(災害対応特殊救急自動車)の取得について		
財産(高度救命処置用資機材)の取得について		
公の施設(宝塚市立男女共同参画センター)の指定管理者の指定について		
損害賠償の額の決定について		
市道路線の認定について(8件)		
市道路線の廃止について(2件)		
市道路線の一部廃止について		
市道路線の認定変更について		
人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて(2件)		適 任

その他結果 ※「行財政改革への不退転な取組を求める陳情」は、総務常任委員会で審査し、採択されました。



発想を転換し、財源を見つけよ

新風改革の会 大川 裕之

【公共施設等の更新】

問 公共施設等総合管理

計画で、市が保有する建物施設の延べ床面積を20年間で6・2%削減する目標を設定しているが、削減面積は。また、同期間に更新の対象となる建物施設の延べ床面積は。

答 目標とする削減面積

は約4万1千㎡となる。また、今後、更新の対象となる市営住宅、クリーンセン

ター、学校教育施設及び市

立病院等の建物施設の延べ

床面積は、約22万㎡である。

問 更新対象の延べ床面

積が約22万㎡で、削減目標

を4万1千㎡とする場合、

削減率は18・6%となる。

答 更新対象の建物施設

夜間中学を守る行政間連携を

市民ネット宝塚 北野 聡子

【里山林を守るために】

問 ナラ枯れ被害が長尾

山系や六甲山系でも目立っており、身近な自然林にも及ばないか不安。倒木や猛毒キノコの発生等、危機的な環境問題にもなる。他市では被害を減らす市民活動を支援しているが、本市は。

答 管理協定や公園アド

プト制度による日常管理の中で、状況変化の確認など市のできない部分に市民の

現実的には困難と考える。

問 市の試算結果による

と、建物施設のランニングコストが建物に要する費用の1・5倍程度になるとのことだが、本市の建物施設におけるランニングコストの割合は把握しているか。

答 一元的には現状把握

できていない状況である。

意見 更新等費用と投資

額のバランスをとるために、建物の削減だけでなく、ランニングコストにも目を向け、削減額が投資額に反映される仕組みを構築することが必要である。

障がい者の地域生活支援

ともに生きる市民の会 井上 聖

【市営住宅での対応】

問 入居申し込みの際、

障がいの程度や心身の状況、介護の内容を聞かれ、非常に嫌な思いをしたとの訴えがある。障がい者のみ個人情報が必要な理由は。

答 単身入居申し込み者

は単身で生活できることが前提のため、申立書を提出してもらっている。今後は受け付けの際の聞き取り内容について、障害者差別解

消法の趣旨に沿って当事者に配慮していきたい。

問 なぜ安倉南支援セン

ターの募集が平成29年度から停止されるのか。また、通所日数の減少や導尿など

の医療的ケアも希望どおり

行われていない現状がある。答 自分で行動できる範囲が広い知的障がいを伴う利用者が増え、医療的処置にスペースが必要な方もい

るため、当初の想定以上のスペースの確保が必要になっている。安全面を優先的に考えると受け入れは困難なければならない。

意見 調査をして今後の

計画を立て、予算の確保を。

問 身体障害者支援セン

ターにおける理学療法士と言語聴覚士の人材確保は。答 理学療法等が利用者の身体機能の維持向上に効果があると認識している。指定管理者である宝塚市社会福祉協議会と協議をする中で対応を検討したい。

財源不足と大型事業

維新の会・宝塚議員団 岩佐 将志

【宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用】

問 市は今後3年間で約

35億円の財源不足を見込んでいます。整備に総額約35億円、さらに運営経費に年間約7千万円もかかる文化芸術施設を建設しようとしている。問題があると思うが。

答 このエリアは、先人の

取り組みや努力によって、宝塚らしい魅力的なエリアになっている。今後の成長

のためには、この場所に新たな投資が必要と考える。

問 元々この場所は阪急

電鉄が収益目的で遊園地等を運営していた場所では。

答 後年は社会貢献の意

味もあったと思う。問 管理運営経費の見込

みを公表しなかった理由は。答 パブリックコメント時は税負担が必要との考えを示したが、具体的な事業内容が確定していなかった。

問 抽象的な説明では市

民は税負担額がわからない。

答 一般的に1億円弱を

公的負担する施設が多い。市民もそう想像すると思う。

問 整備費の総額が約35

億円になることをワークシヨップで市民に説明したか。答 その段階であまり説明していない。総額は基本設計で明らかになったもの。問 全議員が基本設計の



日本共産党
宝塚市議員 となき正勝

介護保険の充実を求める

【介護保険制度における総合事業への移行】

問 予防給付から総合事業に移行することにより、利用者のサービス低下、切り捨てにはならないか。

答 引き続き同じサービスを希望する場合、現行相当の訪問及び通所介護を利用できることを原則とする。

問 介護事業所の経営に悪影響はないか。

答 移行は形式的な移行であることから、予防給付の単価を継続することを基本とし、訪問型サービスの報酬額についても適切な費用設定を行いたいと考えている。介護事業所の経営に悪影響が生じないよう努める。

【NTN(株)宝塚製作所跡地周辺の環境整備】

問 商業施設のオープンに伴い県道西宮宝塚線の交通量が増加した。歩道の確保、横断歩道や信号機の設置等、歩行者の安全対策は。

答 歩道については、新庁舎・ひろば整備事業にあわせ、県がNTN跡地側の延長170mを来年度から平成31年度を目途に先行的に整備し、その後、反対側も順次整備の予定である。

並行して、横断歩道や信号機等の整備について、宝塚警察署と協議を行っていく。

意見 NTN跡地の反対側は、通学路でもあり非常に危険な状態である。せめてNTN跡地側と同時進行で、歩道の整備をするべき。



安全で誇れる
宝塚をつくる会
細川 知子

災害時に機能する貯水槽に

【災害時の水の確保】

問 市内8基の飲料水兼用耐震性貯水槽は、災害時に市民が水を出せる状況か。

答 地域の訓練の頻度や内容に差がある。広報誌等で取り扱い方法のわかりやすい情報発信に努めたい。

意見 市民が災害時に使えるようトレーニング等をする。貯水槽の緊急遮断弁不良の報告を1件受けている。ほかに同様の報告は。

答 計7基で不良を確認。今年度は中山台の貯水槽の修理を計画している。

問 すべて早急に修理を。修理に1カ所約300万円の費用が必要。できるだけ早く取り組みたい。

意見 貯水槽が故障したままでは、災害時に機能せず、宝の持ち腐れとなる。

【市立幼稚園に関するパブリックコメント】
問 若いお母さんが子どもを連れ、集中して難しい書面を読み解くのは大変。内容について市民が理解し、意見の出しやすい進め方を。

答 次に実施計画案を出す際は説明会を開催したい。

【市の防犯カメラ設置】
問 30台の設置方針案は7月末をめどに取りまとめると聞いたが、進んでいない。今後の設置計画は。

答 30台のみならず、今後市全体に設置する箇所や台数を精査している。

意見 市は、地域が設置を考えやすいよう、計画の全体像を早期に策定すべき。



維新の会・宝塚議員団
たけした正彦

包括予算制度の導入を

【高齢化に伴う交通網対策】

問 高齢者の交通事故が増加。来年3月の改正道路交通法施行を機に、75歳以上で一定の事故を起こした者は認知症検査が義務化される。免許証の自主返納も進むと予想されるが、市の返納促進の取り組みは。

答 コンパクトなまちづくり等の実現には公共交通が大事。そのためには利用者の確保が課題。高齢者が

免許返納で車を手放し公共交通に変わるよう、市内バス事業者5社のうち、返納による割引を導入していない2社に導入を要望したい。

【予算編成】
問 事業数は毎年増加。直近3年で新規・拡充した各年度の事業に比べ、廃止・完了した事業は予算額で約5%しかない。事業の削減は設けられないのか。

答 スクラップ・アンド

・ビルドのスクラップは、事業の廃止のみを指すのではなく、既存事業の見直しによる財源捻出の手段も含まれる。事業の削減枠としては設けていない。

問 各部署に予算編成を任せる包括予算制度を導入しては、導入自治体からはシビアにコストを検証でき、仕事の効率化も図れるという効果を聞いているが。

答 事業の優先順や政策的観点から市全体で予算枠をつくっている。一方で、今後は状況により見直す必要もあると考える。



日本共産党
宝塚市議員団
みとみ稔之

生き生きと働き暮らすために

【宝塚市の主権者教育】

問 政治や選挙その他の社会事業に参加することで国や社会の問題をみずから考え、判断し、行動していく主体者を育てる教育を主権者教育と考えるが、現在の宝塚市の取り組みは。

答 将来主権者となる子どもたちの意識を高めるため、小・中学校では、社会科学の授業において民主政治や政治参加に関する知識や

理解を深めている。

【労働者の安全・健康】
問 近年、国が進める雇用労働政策によって、ワーキングプア、過重労働による過労死や自殺が後を絶たない。市が実施する労働相談の内容及び件数は。

答 市では毎月1回社会保険労務士による労働問題相談を実施しており、雇用賃金及び職場環境に関する相談が平成26年度は計4件、

平成27年度は計16件あった。

問 平成19年に出された労働問題審議会の答申として、今後の主な労働施策について提起された内容がどの程度達成されたか。

答 労働施策に係る行動計画を策定し、その実現に向けた事業に取り組んだ。アンケート結果からは、育児休業や短時間正社員等に係る状況に改善が見られる。意見 働く人が生き生きと働き暮らすことのできるまちづくりのため、市としてさらに積極的に取り組んでほしい。



教育環境の格差是正を

日本共産党
宝塚市議員団 たびち静子

【学校教育環境の整備】

問 市内小中学校を視察

し、校舎の老朽化で壁が剥がれたり、雨漏りやトイレの悪臭、全館一斉空調のため教室により温度差がある等の問題が見られた。教育環境の格差是正を。

答 校舎等の老朽化対策

や空調等の更新を加速し、早期是正に努める。また、トイレ改修の試算は約22億円。国交付金を確保し、

きる限り早期に改善したい。

意見 事故もなく子ども

たちが安心して快適に過ごせるよう、早期に改善を。

【子どもの貧困対策】

問 平成27年度全国学力

・学習状況調査では、朝食や家庭学習に関する質問項目で本市が全国平均よりポイントが低い学年が見うけられた。調査はしたのか。

答 朝食の実態は調査で

きていない。

問 貧困が原因の可能性もある。そうした子どもを早期に発見するには福祉部門との連携が大切では。

答 教職員が行う支援に

限界がある場合は、スクールソーシャルワーカーを含めたケース会議で協議し、必要に応じ福祉につないでいる。一層連携を深めたい。

【宝塚花の里・西谷】

問 取り組みの進捗は。

答 24品目をブランドに認証。奥宝塚菜園のドレッシングは先月から西宮名塩サービスエリアで販売開始。市内3店舗でも販売を計画。



震災に学ぶ防災危機管理

自民党議員団 山本 敬子

【防災・危機管理】

問 熊本地震では福祉避難所に対象者以外に家族も

来て機能を果たせなかった。国の基準はなく、市は家族の受け入れをどう考えるか。

答 要援護者専用施設な

ので受け入れは本人のみどころもある。地域での災害時要援護者支援制度の説明でも周知し、避難所開設時の対応も協議を行う。

助かった人の90%以上が自

助、共助による。自主防災

組織など、地域の状況は。

答 現在238の組織中

昨年度は203の防災会が

活動。複数の連携もある。

意見 地域が避難所を運営し、市・消防・病院への報告がされ、行政がそれにしっかり対応する仕組みを。

【宝塚市の観光行政】

問 国際観光都市として、

の受け入れに課題はないか。

答 違法民泊は市で把握

できないが、それらの規制やトラブル防止について、国や県と連携し、先進市を参考に情報収集に努める。

【宝塚ガーデンフィールズ跡地の利活用】

問 観光・文化・芸術は

市の大きな強みだが、その伝統の継承をどう考えるか。

答 家族が集うにぎわいの空間の歴史を受け継ぎ、

新施設は絵本をテーマに文化芸術に触れるものとする。

問題点の多い公共施設整備

公明党議員団 江原 和明

【市民の情報源】

問 宝塚生活ガイドブック

は転入時に渡されるが、現在のものは4年前の発行。今後発行間隔をもっと短く、2年くらいにできないか。

答 配付時に正誤表を挟み、ホームページ上は随時更新。他市の取り組みや広告掲載費の状況も勘案し、

次回以降検討したい。

意見 介護保険制度等のいきいきガイドブックは必

要な相談窓口の記載が一番

最後。市民目線で見直しを。

【災害時の給食調理室活用】

問 今回初めて給食調理

室活用の可能性が示されたが、地域との連携は。

答 給食調理員の指導で調理器具を使用するなど、避難所運営の一助としたい。

【がん対策の一環として】

問 生存率は向上し、職

場復帰では副作用による脱毛が問題。医療用ウィッグ



人口減少への対応策

新風改革の会 伊藤 順一

【人口減少への対応策】

問 ビッグデータを活用

し地域経済を視覚的に分析できるシステム、いわゆるリーサスを使い本市を分析。本市は阪神間での転入・転出が多く、近年は生産年齢人口が大きく減少していることが判明。都市間競争に負けているが、見解は。

答 大変危機感を持って、総合戦略の中でシタイプロモーション等を進めている。

意見 子育て世代を取り

込むには、やはりしっかりと経済対策が必要では。

問 リーサスや工業統計

によると、本市の起業の比率は全国的に高いが、小規模事業者が多く、飲食、医療、福祉・介護以外の雇用は減少傾向。市は、データの種類業種ごとにきめ細やかな対策をする必要がある。

答 本市は製造業の立地

は保険適用外で全額自己負担。本市で購入助成制度の創設はできないか。

答 社会参加への支援は課題と認識。先行自治体の取り組みを研究していく。

問 新庁舎・ひろば整備

計画は今以上の渋滞と交通事故の可能性があるので、

答 実施設計で検討する。



公明党議員団 中野 正

頑張る宝塚が被災地の希望に

【東北への復興支援】

復興支援の現状は。

震災発生時から、本市からは宮城県の子川町に延べ20人、南三陸町に延べ9人の職員を派遣している。

派遣職員から、現地

の声や復興のための提案を聞いて、それを実行できるシステムをつくれぬか。

答 現地課題と認識するようなくとも具体的に聞いて、本市として何ができ

るのかを市内で共有するような取り組みを検討したい。

【末広中央公園の利用】

年に1回でも、市民に貸し出す機会を設けて、公募によるイベントを行うこともできないか。

答 一定のルールは必要だが、公募等の方法により市民に利用していただけるよう、前向きに検討したい。

【清荒神参道の新しい活用】

清荒神参道で特区の規制緩和を利用したイノベーションを起こそうという提案があるが、市の見解は。

答 法に基づく手続きや関係機関の合意等、丁寧な調整が必要だが、さまざまなアイデアを持つ市民や事業者は、商業や観光の活性化のための大切なパートナーである。具体的な提案があれば、関係機関等と連携しながら応援していきたい。

【脳脊髄液減少症の啓発】

市のホームページ以外に、広報誌でも啓発を。

答 広報誌からだけでなく、情報提供をしていきたい。



公明党議員団 三宅 浩一

地域にしつかりした説明を

【花屋敷グラウンド周辺整備】

問 グラウンドは昨年オープンしたが、当初の想定より整備費が膨らんだ。今後の独自跡地活用や周辺整備等を含めると全体事業費は一体いくらかかるのか。

答 全体の事業費は、まだ明確に算定できていない。

問 当初、地域と協議を重ね、市は地域活動の場ができる等の概要を説明して

きたが、地域はいつになったら整備するのかという気持ちになつていて、整備スケジュールを示すべきでは。

答 事業が停滞して、説明が行き届いていなかった。早期にスケジュールを見直し、地域に今後の整備の方向を説明していきたい。

問 独自寮については、市のほうで更地にするのか。

答 基本的に解体する。跡地は民間活用を考慮してお

り、解体を含めるかどうかは今後見極める。まずはあくセ道路を完成させたい。

【危険な交差点の解消】

問 昨年、山本中2丁目交差点付近に商業施設ができ、開店以降、駐車場に入する車両で交差点は大変危険な状態。国道だが、市として指導できたのか。

答 法に基づく指導はしているが、通学路でもあり事業主にガードマンの配置や注意喚起など、安全への配慮をお願いしていきたい。

意見 市は開発後の問題解決の方法を示してほしい。



公明党議員団 藤岡 和枝

被害者に寄り添った支援を

【自転車の安全利用】

問 平成25年の「宝塚市自転車の安全利用に関する条例」施行後の取組状況は。

答 交通教室や安全講習会等の実施、子どもや高齢者の自転車競技大会の開催、警察等と街頭啓発を実施。

問 善意の市民の協力のもと、自転車安全指導員を広く募って啓発に力を入れていくべきでは。

答 市民との協働ですること

ことで、活動範囲も広がります。検討していきたい。

【犯罪被害者支援条例】

問 この条例の趣旨は。

答 不幸にして犯罪行為により傷害を受けた市民や不慮の死を遂げた市民の遺族を支援し、精神的被害を軽減することが条例の趣旨。

問 条例制定から12年が経過し、支援が必要な人のニーズも変化している。近

年同条例を制定した市では、相談支援体制の整備等、被害者に寄り添う体制整備などが規定されている。本市は、県下で最初にこの条例を制定した先進市であったが、取り組みが遅れている。見直しが必要ではないか。

答 困っている人に寄り添えるよう、見直したい。

【産前・産後サポート事業】

問 妊娠届の最多提出先である窓口サービス課で、時間限定でも保健師等に相談できる体制を整備しては。

答 少し課題もあるが、今後、検討していきたい。



自民党議員団 大河内茂太

プロムナード構想の継続を

【観光プロムナード構想】

問 宝塚市の中心核は観光プロムナードである。同構想は継続するのか。

答 エリアや目的は継続。宝塚歌劇や観光資源の連携で活性化に取り組み。

【宝塚ガーデンフィールズ跡地活用】

問 文化芸術施設を新設する計画が絵本をテーマにした事業になった。関連は。

答 絵本原画は芸術性が

高い。新設する施設では参加型イベントを通じ、子どもを初め家族で文化芸術を楽しんでもらえるコンテンツを提供していきたい。

意見 2年前、私は財政を理由に、宝塚ガーデンフィールズ跡地取得議案に反対した。子どものための絵本施設なら他の場所でもよいのでは。絵本では客の対象が限られ、観光客を呼び込めない。約35億円の初期

費用と年間約1億円の維持管理費をかける事業なのか。

【中筋山手3丁目の開発】

問 開発区域外の計画下水量は妥当か。区域外の下水量を指導すべきでは。

答 区域内外からの流入水も考慮した流出量合計を用いて放流先の水路断面を検討するよう指導している。

【市立幼稚園の統廃合】

問 保護者も混乱している。閉園時期を明らかにし、周知期間を設けてほしいが。

答 必要な周知期間を設け、市民の意見を参考に具体的な計画案を策定する。



市はケアラーへの視点を
ともに生きる市民の会 大島淡紅子

【ケアラーを支える】

問 ダブルケアラーとは
子育てと親の介護の両方を抱える介護者。ヤングケアラーとは病気や障がいがある両親や祖父母、幼い弟妹等の介護や世話を行っている18歳未満の子ども及び18歳から30代の若者の介護者の総称。いずれのケアラーも支援を知らずに孤立し、深刻な状況につながりかねない。まずは市で実態把握

答 市で実態把握は行っていない。ケアマネジャーや介護サービス事業者等の協力を得て一定の実態把握が可能ではないかと考える。意見 特に子どものケアラーは社会生活面での影響が懸念される。市は要介護者だけでなくケアラーへの視点を持った取り組みを。

問 子ども食堂と教育支援
子ども食堂の課題は、

広報手段がないことと場所確保。市で支援できないか。
答 広報や公共施設の提供等、子ども未来部を窓口に関係部署へつなぎたい。

問 子ども未来部だけでなく、庁内連携が必要ではないか。
答 子ども食堂も課題の一つに、子どもの貧困実態調査結果を踏まえ、関係部局一体で方策を検討したい。

意見 子ども食堂は地域食堂。食事だけでなく、高齢者が子どもの宿題をみるなど、地域を紡ぎ直す場所食堂が増えれば子どもの貧困解決のきっかけになる。



担当制で地域課題の解決を
新風改革の会 浅谷 亜紀

【地域担当制の見直し】

問 第5次総合計画後期基本計画において、あえて見直しを行う理由は。
答 現実には、地域担当職員が地域に向く形になっていなかった。今後は、まちづくり協議会の定例会議などに出向き、地域課題の把握や情報の共有を図り、ファシリテーター的な職員として活動していきたい。

問 各地域の課題を庁内で集約していく解決ルートは検討しているのか。
答 地域担当職員が担当部署につなげ、地域とのコーディネート役割を担う必要があると考えている。

【いじめの防止体制】

問 ここところからのアンケート調査後、問題解決に向けたアプローチは。
答 全ての子どもと面談し、気になったことについては学校全体で情報共有し、

継続して見守りを行う。必要な場合はスクールカウンセラーにつないだり、教育委員会が指導や支援を行う。

【ごみ排出量の削減】

問 微増傾向にある中で、削減に向けての取り組みは。
答 ハンドブックの各戸配布や出前講座の活用、ごみゼロ推進員研修、広報誌や市ホームページの活用などの啓発に取り組んでいる。

意見 ごみの排出量で焼却炉の大きさが変わり、施設の費用負担が変わる。多くの市民に意識を変えてもらえるよう推進してほしい。



安全で誇れる宝塚をつくる会 北山 照昭

【宝塚ガーデンフィールズ跡地の整備】

問 手塚治虫記念館のリニューアル計画の現状は。
答 宝塚ガーデンフィールズの閉園に伴い、ソフト面中心に一旦変更し、現在再検討中。新施設と連携し、魅力向上の工夫をする。

問 文化創造館との連絡デッキは、なぜやめたのか。
答 景観や費用対効果等を総合的に判断し見直した

安全で誇れる宝塚をつくる会

【何より重視すべき安全対策・減災対策】

問 南ひばりガ丘3丁目及び口谷東1丁目は、一昨年冠水し、家屋の浸水被害も発生。大口径パイプ雨水管の設置しか根本的解決策はないと思う。地元も期待している。早期対応を。
答 解決策検討、実施設計を経て、平成30年度工事に着工。早期完成をめざす。

問 市有地の山崖崩れ等危険箇所対策事業の進捗は。
答 11カ所のうち1カ所を本年度に、残り10カ所は、来年度以降順次工事を実施。

【ごみ焼却炉の整備と負担】

問 平成36年新炉操業開始に向け、整備する焼却炉の規模は。補助等を受けても、多額の自己資金が必要だが、どう考えているのか。
答 新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会で、施設規模等を審議中。国の交付金や起債等を最大限活用し、市負担の抑制に努める。



ペットと幸せに暮らすために
維新の会・宝塚議員団 若江まさし

【市の学力向上推進事業】

問 教育には完成形はなく、学力向上の努力は、本人はもちろん、学校・保護者・地域も関わるもの。昨年度24小学校中13校で実施した「たからづか寺子屋事業」の本年度の状況は。
答 本年度は15校で実施予定。1学期に10回実施した学校もあるが、実施予定校のうち4校では未実施。

問 なぜ未実施なのか。
答 11月からのリニュー

地域で支援してくれる人材が必須であるが、人材確保ができていない。

問 人材確保の方策は。
答 学校主体で取り組んできたが、学校支援地域本部事業の学校応援団との連携を促すなどの支援を図る。

【ふるさと納税】

問 積極的に市民からのふるさと納税を受けて、本市の収入額を増やしては。
答 11月からのリニュー

アルにあわせ市民向けのふるさと納税を検討する。

【ペット・飼い主・近隣の方が幸せに暮らすために】

問 ペットのしつけやキヤリバッグでの避難等、災害時の避難所でのペット対応についての周知は。
答 市ホームページに避難所運営マニュアル等を掲載し、避難所を運営する地域の方に啓発している。

問 登録時に配っている愛犬手帳に、災害時の注意書きを記載しては。
答 愛犬手帳の内容更新時に記載等を検討する。

8月22日、23日に静岡県富士(ふじ)市と東京都東久留米(ひがしくるめ)市を視察しました。

8月22日 富士市

①議会モニターについて
平成23年9月より開始。任期2年間、定員は10人(団体推薦5人、一般公募5人)。モニターには謝礼を支給。現在3期目ですが、元々の目的は議会傍聴者数の増加を図ること。議会提案で改革が進みました。

②議会基本条例に基づき、

議会基本条例に基づき、決算審査の充実と予算編成に生かすため、議会が指定した10事業に関して、議会として、事業評価シートに拡充し廃止まで5段階評価を実施しています。審査手続きとして、決算の委員会を常任委員会として設置。平成23年度より開始し、少しずつ制度改善されてきました。現在では6月に対象事業を決定し、議運確認後に当局に資料を要求しています。その後8月に説明・質疑を行い、会派ごとに事業評価シートを作成。9月の決算審査終了後は、協議会で議会評価を決定し、10月に議長から市長に評価を提出します。そして、翌年



東久留米市の議会運営を学ぶ

8月23日 東久留米市

①議会運営について
平成23年度及び平成24年度一般会計予算審議当時の市長の施政方針と議会の関係で、2年連続で議会が予算を否決しました。否決後の執行機関

の対応については、暫定予算で対応したとのことです。

②市長へ辞職勧告決議
この間に、猛省を求めた決議、辞職勧告決議を合わせて8回の決議が可決されました。

③財政状況その他
歴代市長の状況について説明がありました。保守系と革新系と交互に市長が選出。行財政改革に積極的

に取り組み基金残高を増やしましたが、次の市長は改革に消極的で基金が減る、この繰返しました。当日は、議長と議運委員長自ら話しづら事実を丁寧に説明いただきました。(江原)

報告

宝塚市議会では、議会の調査・研究活動の一環として、他の自治体で取り組まれている先進的な事例を調査し、市への提案につなげています。

総務常任委員会

7月26日、27日に青森県八戸(はちのへ)市と岩手県盛岡(もりおか)市を視察しました。
7月26日 八戸市
青森県八戸市では、平成8年に「男女共同参画社会をめざすはちのへプラン」を策定。その後「男女共同参画基本条例」策定で、このプランは「第1次八戸市男女共同参画基本計画」に位置付けられ、平成17年に第2次、平成23年には第3次と、変わりゆく社会情勢に配慮して見直しし、様々な施策を積極的に進めています。意識啓発事業では、和田勉氏や倍賞千恵子氏などの講演会の実施で、多くの参加者に考える機会を提供。男女平等感の浸透を目指した情報誌「WITH YOU」も年2回発行。また、各分野で活躍中の女性達と市長による意見交換会「トキキングカフェ」の開催や、「女性チャレンジ講座」では若手女性のビジネススキルの習得に資する学習機会を提供し新たな女性人材の育成及び発掘も図られており、宝塚市にも取り入れたいと感じました。その後、新たな交流と想像の拠点として毎年約百万人の来館者を数える「八戸ポータルミュージアム・はちのへ」を見学。誰もが足を運びたくなるすばらしい場の工夫があり、わがまちの観光や集える場の創造に活かして参りたいと思います。



八戸市のはちのへで説明を聴く

7月27日 盛岡市

人口減少社会の中、公共施設の維持・管理に關しては、多額の費用を要し、人口に見合った施設を保有するバランスは、少子高齢化社会において、全国の自治体が頭を抱える

(浅谷)

大きな問題の一つです。今回、岩手県盛岡市の推進する「公共施設アセットマネジメント」について、視察を行いました。アセットマネジメントとは、保有する公共施設を効率的に管理・有効活用することです。盛岡市では、専門機関を設置。若手職員を2年間出向させ、そこでアセットマネジメントのノウハウを習得。その後、その職員が中心となり、行政内に専門部署を立ち上げ、取り組みを強化しています。これは、業務の専門性を高めることで、効果・効率的な業務を円滑に進めることができるだけでなく、若手職員のモチベーション向上にもつながり、育成の観点においても非常に有効だと感じました。事業の転換期を活かした育成方針には見習うものがあります。(たけした)

視察

今回は、7月及び8月に行われた、議会運営委員会、総務・文教生活・産業建設の各常任委員会の視察の概要を議員がご報告します。

文教生活常任委員会

総務常任委員会

8月8日、9日に富山県高岡(たかおか)市と福井県永平寺(えいへいじ)町を視察しました。

高岡市では、地域包括ケアシステムの構築に向けて地域ケア会議・地域ケア推進会議の取り組みを視察しました。

高岡市では、増加する認知症高齢者支援として、医師会との連携により認知症・地域ケア相談医を全11圏域に設置し、認知症の早期発見・検診に取り組んでいます。認知症・地域ケア相談医は登録制で現在50名が登録されており、診断と相談に対応しています。また、認知症高齢者を地域で支える認知症サポーター養成に取り組み、受講者は1万2千人を超えています。

8月8日、9日に富山県高岡(たかおか)市と福井県永平寺(えいへいじ)町を視察しました。

高岡市では、増加する認知症高齢者支援として、医師会との連携により認知症・地域ケア相談医を全11圏域に設置し、認知症の早期発見・検診に取り組んでいます。認知症・地域ケア相談医は登録制で現在50名が登録されており、診断と相談に対応しています。また、認知症高齢者を地域で支える認知症サポーター養成に取り組み、受講者は1万2千人を超えています。



永平寺町で説明を受ける

永平寺町では、学力向上に向けた取り組みと永平寺中学校スクールプラン2016について、宮崎義幸教育長自らレクチャーしてくださいました。

永平寺町では、学力向上に向けた取り組みと永平寺中学校スクールプラン2016について、宮崎義幸教育長自らレクチャーしてくださいました。

永平寺町では、学力向上に向けた取り組みと永平寺中学校スクールプラン2016について、宮崎義幸教育長自らレクチャーしてくださいました。

永平寺町では、学力向上に向けた取り組みと永平寺中学校スクールプラン2016について、宮崎義幸教育長自らレクチャーしてくださいました。

永平寺町では、学力向上に向けた取り組みと永平寺中学校スクールプラン2016について、宮崎義幸教育長自らレクチャーしてくださいました。

市議会の情報はインターネット・Facebook・FM放送で

◆インターネット

市議会ホームページでは、会議日程や議案審査の結果、本会議の映像(インターネット中継・録画配信)等をご覧いただけます。

本会議や委員会の会議録検索もできます。

◆Facebook

本会議や委員会の開催日程のほか、議会報告会や意見交換会など市議会主催イベントの情報などをお知らせしています。

◆FM宝塚 83.5MHz

毎週2回(月・木)11時55分から5分間、市議会の話題をお届けしています。

一般質問(録音)や議員インタビューも放送しています。また来年1月には、決算特別委員会正副委員長インタビューを放送予定です。

詳しい放送日程は、市議会ホームページでご確認ください。

宝塚市議会  で検索

議会報告会 来場をお待ちしています!

11月6日開催の議会報告会では、たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。

次回の議会報告会は、下記のとおり開催いたします。ぜひお越しください。

開催日 平成29年1月28日(土)

時間 午前10時～正午(開場:午前9時30分)

場所 男女共同参画センター(ソリオ2 4階) 学習交流室1 A・B

ソリオ2は阪急宝塚駅改札口を出て右に徒歩1分

内容 12月定例会の報告



※一時保育を実施しています。

申し込みは1/23(月)まで。

※手話通訳、要約筆記が必要な方は事前にご相談ください。

【お問い合わせ】TEL:0797-77-2168

FAX:0797-74-6902

街を愉しみ元気を生む9つの視点

～近隣市の事例から～

議 会
講 演 会

近隣市の賑わい創出、活性化の事例を参考にしながら、宝塚市に新たな活力を生み出すためのヒントを考えます。

平成29年1月24日(火)

午後1時30分～3時

市議会本会議場(宝塚市役所3階)



講師:若狭 健作 氏
(尼崎南部再生研究室・まちづくりプランナー)

入場無料

- 申し込みは不要です。直接会場へお越しください。
- 当日は、午後1時から直接会場で参加の受付をします。
- 先着28名の方には議席で、その他の方には傍聴席で講演をお聴きいただけます。なお、ご来場多数の場合は、別室で音声のみをお聴きいただくこともありますのでご了承ください。

お問い合わせ:市議会事務局 総務課 TEL:0797-77-2034

第5回意見交換会
市民発言者募集!
詳細は3面へ



最後までお読みいただきありがとうございます。
誌面への意見や感想は、議会事務局までお気軽にお寄せください。

宝塚市議会事務局
〒665-8665
宝塚市東洋町1番1号
TEL 0797-77-2168(直通)
FAX 0797-74-6902

議会報「かけはし」は、すべての世帯と事業所のポストに宅配でお届けしています。
お手元に届かない場合は、下記のフリーダイヤルへご連絡ください。

ジャパンメッセージャーサービス(株)
フリーダイヤル
0120-240-324
(9時～19時まで)



12月							
21日	20日	19日	14日	13日	12日	9日	8日
水 本会議(予備日)	火 本会議	月 議会運営委員会	水 本会議(一般質問予備日)	火 本会議(一般質問)	月 本会議(一般質問)	金	木 議会運営委員会

12月定例会開催中

市議会の本会議や委員会一般に公開されており、どなたでも傍聴できます。議員の活動や市政の動向等を知る機会でもありますので、ぜひ傍聴にお越しください。本会議の受付は市庁舎4階本会議場、委員会の受付は市庁舎3階議会事務局です。

Let's go!
傍聴

※議会報かけはしは年4回発行しています。次号は、平成29年2月1日発行予定です。

◆本号には、議員が執筆した委員会視察の報告記事も掲載しています。また、議員自ら表紙写真の撮影に足を運び、市民が議会を身近に感じる読みやすい誌面づくりを心掛けました。かけはしを更に進化させるため是非、ご意見・ご感想をお寄せください。(細川)

◆議会報告会・意見交換会ともに、議会がより身近な存在になることをめざして開催しています。子どもさん連れも、お体の不自由な方も参加いただきたいので一時保育や手話通訳などがあります。
ぜひ、なまのお声を聴かせてください。(二大島)

編集後記